



2024年9月

各 位

一般社団法人産業環境管理協会  
資源・リサイクル促進センター

## 令和6年度「3R先進事例発表会」開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当協会は、例年「リサイクル技術開発本多賞」並びに「資源循環技術・システム表彰」の表彰式とともに「3R先進事例発表会」を開催しているところですが、本年度も**10月16日（水）**に令和6年度「3R先進事例発表会」を開催することといたしました。

発表会はハイブリッド形式で行い、当日は、資源循環・3R（リデュース、リユース、リサイクル）・循環型経済の促進に関わる企業、研究機関、公的機関等の受賞者の皆様より、最新事例・優良事例について多数ご紹介をいただくとともに、経済産業省から資源循環政策の最新動向に関するご講演をいただく予定です。また、本年度は「資源循環技術・システム表彰」50周年を記念し、特別講演も予定しております。

資源循環の最新情報収集の絶好の機会ですので、ぜひ皆様お誘い合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

（お問い合わせ先）

一般社団法人産業環境管理協会 資源・リサイクル促進センター  
表彰式・3R先進事例発表会事務局

〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目3番1号（幸ビルディング3階）

TEL 03-3528-8158 Email award3r@jemai.or.jp

リデュース・リユース・リサイクルに取り組まれている全ての皆様へ

令和6年度開催ご案内

# 3R先進事例発表会

経済産業省基調講演、50周年特別講演、  
各賞の受賞者による講演

一般社団法人産業環境管理協会では、持続可能な循環型社会の形成を目指し資源循環の更なる普及・振興を図るために、3R先進事例発表会を開催しております。

この発表会では、今年度の「リサイクル技術開発本多賞」、「資源循環技術・システム表彰」の受賞者より受賞内容について発表をしていただくとともに、日本の資源循環の現状について経済産業省よりご講演をいただきます。また、今年度は「資源循環技術・システム表彰」50周年を記念し、特別講演も予定しております。

先進的で高度な3R技術・システムについて情報が得られる絶好の機会ですので、奮ってご参加ください。

## 開催日時

2024年10月16日(水) 13:00~17:30

詳細プログラムは裏ページをご覧ください。

## 開催場所

◇機械振興会館地下2階ホール 〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目5番8号

◇オンライン (ZOOM) による配信

\*講演資料は前日までに当協会ホームページに掲載いたします。環境に配慮し、会場での配布は行いませんので、必要な方は各自ダウンロードをお願いいたします。

## 申込方法

ホームページよりお申し込みください。

<https://www.cjc.or.jp/news/topics/entry000251.html>



申込期限 2024年10月9日(水)

参加費 無料

問い合わせ先



(一社)産業環境管理協会 資源・リサイクル促進センター

「表彰式・3R先進事例発表会事務局」

〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目3番1号(幸ビルディング3階)

TEL : 03-3528-8158

E-mail : award3r@jemai.or.jp



# 令和6年度 3R先進事例発表会 プログラム

● 開会 13:00

● 3R先進事例発表会【基調講演】 13:00~13:30

資源循環政策の動向（仮題）	経済産業省 イノベーション・環境局 GXグループ 資源循環経済課長（予定）
---------------	--

● 3R先進事例発表会【特別講演】 13:30~14:30

資源循環に係る技術・システム開発の歴史 （50年の歩み）（仮題）	東北大学 名誉教授 中村 崇
これからの資源循環と産学官の役割 サーキュラーエコノミー・カーボンニュートラル の実現に向けて（仮題）	早稲田大学 名誉教授 大和田 秀二

● 3R先進事例発表会【リサイクル技術開発本多賞受賞者】 14:30~15:00

廃小型家電リサイクルにおける電池発火防止のための透過X線及び深層学習を利用した内部構造分析技術の開発	国立研究開発法人産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 環境創生研究部門 資源価値創生研究グループ 主任研究員 上田 高生
シクロペンチルメチルエーテル(CPME)および4-メチルテトラヒドロピラン(4-MeTHP)の基本有機化学特性と反応溶媒としての応用	大阪工業大学 工学部 応用化学科 准教授 小林 正治

休憩 15:00~15:15

● 3R先進事例発表会【資源循環技術・システム表彰受賞者】 15:15~17:30

難処理PET廃材の有効利用～高耐久化アスファルト舗装による循環経済の実現～	花王株式会社
LONG LIFEを実現する住宅事業	旭化成ホームズ株式会社
食品リサイクルによるサーキュラーエコノミーの実現～電気と肥料のダブルリサイクルループ～	株式会社Jバイオフードリサイクル
カーボンニュートラルの実現に資する自動車リユース部品でサーキュラーエコノミーへの移行を加速	NGP日本自動車リサイクル事業協同組合
自動車リユース・リビルト部品普及に向けた包括的ビジネスモデルの構築～リユース・リビルト部品の普及拡大に向けたシステム開発からヒトの教育・ユーザーへの啓蒙活動を通じた量と質の確保に至る包括的なビジネスモデル～	株式会社JARA 一般社団法人JARAグループ （2社連名）
穀物由来アミノ酸残さの発生量及び排出量の低減	播州調味料株式会社
排出される切屑の量や大きさに応じてカスタマイズできる独自の高精度脱油システム	株式会社そうぎょう
スポーツチーム循環型広告	株式会社パレンテ
生産工程で発生する廃プラスチックの削減と再利用の取り組み	グンゼ株式会社プラスチックカンパニー

● 閉会 17:30